

令和8年 飯館村二十歳の成人式

1月11日、交流センター「ふれ愛館」で『飯館村二十歳の成人式』を挙行しました。今年の式には対象の20歳・34人のうち16人が出席しました。今年20歳を迎えた皆さんの多くは、全村避難に伴い川俣町に設置された仮設小学校の最後の卒業生で、「いたて希望の里学園」の第一期生でもあります。それまで誰も経験したことがないかった教育環境で学び、多くの葛藤や困難を乗り越え、そ

れぞれに成長を遂げて二十歳の成人式に集いました。式では出席者を代表し、高橋大和さんが、「こうしてまた故郷に集うことができたことに感謝し、一人の大人として、社会の一員として自覚を持ち、自らの行動に責任を持つことをここに誓いました」と誓いの言葉を述べました。苦楽と共にした友人や恩師との再会に、二十歳の笑顔が輝きました。



二十歳の成人式記念パーティーで交流



式に続いて、実行委員会が主催する『二十歳の成人式記念パーティー』が交流センター「ふれ愛館」の研修室にて開かれました。先生方にもご出席をいただき、思い出を語ったり現在の様子を報告したりして、久しぶりの再会を喜び合いました。



当時の先生方にも多数ご出席をいただき、二十歳の皆さんが感謝の花束を贈呈。また、先生方が一人ずつ、当時を振り返り、祝福の言葉を贈りました。



実行委員会が館内を装飾。懐かしい写真を掲示したコーナーでは、多くの人が友人や家族と思い出を語り合っていました。

「誓いの言葉」を述べる高橋大和さん。



一人ひとりに「二十歳の証書」を授与。



「はたちの20冊」から一人ひとりが選んだ図書が、記念品として贈られました。



庄司幸人さん(上写真)、渡邊諒介さんが「感謝のメッセージ」を発表。